

よいち町

2025.12
No.217

議

会



だ

よ

い

学習発表会



写真は黒川小学校1年生の様子

第3回定例会・第5回臨時会・第6回臨時会の審議結果

○主な審議結果 P 2～4

- ・教育委員会委員を任命同意
- ・令和6年度各会計決算を特別委員会に付託
- ・余市町下水道条例の一部改正案など5件の条例改正案を可決
- ・義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書を可決

○各常任委員会・議会運営委員会委員の選任 P 5

○常任委員会の動き P 7～8

○一般質問 P 9～13

- ・8議員が町政全般について14項目を質問

審 議 内 容

令和7年第3回定例会 第5・6回臨時会

令和7年9月11日～16日に開催の第3回定例会での審議結果、8月25日開催の第5回臨時会、11月4日開催の第6回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

人 事

案 件

□余市町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

余市町教育委員会委員の任期満了に伴い、中井淳氏を任命することに同意しました。

補 正

予 算

一般会計

□令和7年度一般会計補正予算(第2号)【専決処分】
総額10万2000円を追加

◆主な補正内容

○損害賠償金

10万2000円

□令和7年度一般会計補正予算(第3号)【専決処分】
総額8000円を追加

◆主な補正内容

○損害賠償金

8000円

□令和7年度一般会計補正予算(第4号)

総額217万円を追加

◆主な補正内容

○デマンド交通運行事業委託料
217万円

□令和7年度一般会計補正予算(第5号)

総額10億2841万円を追加

◆主な補正内容

○退職手当組合追加負担金
2616万円

○寄附に伴う各種基金積立金
3億8104万円

○ふるさと納税取扱業務委託料
4億9857万円

○ポータルサイト使用料
3862万円

○北後志衛生施設組合負担金
2920万円

○農業次世代人材投資資金交付金
843万円

□令和7年度一般会計補正予算(第6号)

総額1421万円を追加

◆主な補正内容

○定額減税補正給付金
1421万円

特別会計

□令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
総額8945万円を追加

◆主な補正内容

・令和6年度の負担金等の精算に伴う国への返還金、介護給付費準備基金積立金によるもの。

□令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)
総額8873万円を追加

◆主な補正内容

・中央監視設備更新施工管理業務に係る債務負担行為の増額によるもの。

条 例 案

□余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案

選挙運動用じう及び選挙運動用ポスターの作成単価の改正を行いました。

□余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部を改正する条例案

□余市町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い、必要の改正を行いました。

□余市町下水道条例の一部を改正する条例案

標準下水道条例の改正に伴い、必要の改正を行いました。

決 算

認 定

□令和6年度余市町水道事業会計決算認定について

□令和6年度余市町下水道事業会計決算認定について

第3回定例会に提出された令和6年度の水道事業会計及び下

水道事業会計の決算については、令和6年度余市町各事業会計決算特別委員会（土屋美奈子委員長、佐藤剛司副委員長）を設置し、審査を行っています。

□令和6年度余市町一般会計歳入歳出決算認定について

□令和6年度余市町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

□令和6年度余市町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

□令和6年度余市町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

第6回臨時会に提出された令和6年度の一般会計ほか3特別会計の決算については、令和6年度余市町各会計決算特別委員会（茅根英昭委員長、山本正行副委員長）を設置し、審査を行っています。

| | |
|---------|-------------|
| その 他 | の 案 件 |
|---------|-------------|

□工事請負契約締結事項の変更

について

令和5年5月26日議決の令和5年度中央監視設備更新工事において、更新対象外の物品の不良が確認されたことに伴い、契約金額を8億7450万円から9億6322万6千円に変更しました。

□工事請負契約締結事項の変更について

令和7年5月27日議決の令和7年度町営住宅黒川団地外壁改修工事（東棟）において、工事金額の確定に伴い、契約金額を6039万円から6075万3千円に変更しました。

□損害賠償に係る和解及び損害賠償額の決定について【専決処分】

□損害賠償に係る和解及び損害賠償額の決定について【専決処分】

余市フィッシュヤリーナ施設内における破損事故、損失事故による損害賠償に係る和解及び損害賠償額について、それぞれ了承しました。【行政報告参照】

行政報告

□損害賠償について

【令和7年8月25日開催第5回臨時会】

余市フィッシュヤリーナにおける2件の事故について、事故の概要は令和5年6月25日に施設内の駐艇場所への搬入作業においてボートトレーラーから出たブレーキワイヤーケーブルが引きずられ側溝の蓋に引っ掛かり、ワイヤーケーブルを破損したものです。

続いて令和7年7月27日にボートクレーンによる船舶の下架作業において海面に着水した船舶をクレーン帯から引き離す際に、船舶に装備されていたロッドホルダーとクレーン帯が接触したことで装備品の一部が海中に落下し損失させたものです。

その後、それぞれの所有者と話し合いを行い、本町が損害賠償金を支払うことにより和解することと合意に至り、令和7年7月3日及び令和7年8月14日に地方自治法第180条第1項により和解及び損害賠償額の決定及び地方自治法第179条第1項により補正予算について専決処分をしたところです。

□余市町ゼロカーボンシティ宣言について

【令和7年9月11日開催第3回定例会】

近年、世界中で深刻化する気候変動は私たちの生活、地域経済、そして本町の基幹産業である農業や漁業をはじめとする第一次産業などに甚大な影響を及ぼす喫緊の課題であり、国際社会ではパリ協定のもと脱炭素社会の実現に向けて動き出しています。

日本においても国は2050年までのカーボンニュートラル実現を宣言し、北海道もまた「ゼロカーボン北海道」を目指し地域特性を生かした取組を加速させています。

この大きな潮流の中で、本町も地域の持続可能性と未来への責任を果たすべく脱炭素に向けた取組を本格的に推進してまいります。

余市町ゼロカーボンシティ宣言を新たな出発点とし、町民、事業者、各種団体、そして行政が緊密に連携し、美しい海、山、清らかな川が育む豊かな恵みを守りながら、魅力的な地域産業を未来につなぎ、誰もが安心して暮らせる、持続可能で活力あるまちづくりを推進してまいります。

□損害賠償請求控訴事件について

【令和7年11月4日開催第6回臨時会】

去る9月12日、判決の言渡しがありましたことから、その概要をご報告申し上げます。

事件の概要といたしましては相手方が町の安全配慮義務違反の結果、損害を被ったとして令和5年5月、札幌地方裁判所小樽支部に対し訴訟が提起され、第一審におきましては町に責任があるとされ、相手方の請求を全部認容する判決が言い渡されました。本町としては容認できない内容ではないことから令和7年第2回臨時会において議会の議決をいただき、控訴を提起したものでございます。

控訴審においては、町が損害賠償責任を負うとは認められず、原判決を取り消し、相手方の請求を棄却する判決の言渡しがあつた次第です。

しかし、相手方が札幌高等裁判所に上告提起及び上告受理申立てを行ったことから、町としては引き続き弁護士に訴訟委任し、対応してまいります。

審 議 内 容

□義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書

義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書（提出者…土屋奈子議員、賛成者…山本正行議員、尾森加奈恵議員、川内谷幸恵議員）について討論（賛成討論1名…ジャストミートあたる議員）がなされました。

□安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書（提出者…土屋美奈子議員、賛成者…山本正行議員、尾森加奈恵議員、川内谷幸恵議員）について討論（賛成討論1名…ジャストミートあたる議員）がなされました。

要望意見書の審議結果

第3回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

| 件 名 | 議案の提出者 | 審議結果 | 意見書の提出先 |
|-----------------------------------|-----------------|------|-----------------------------|
| 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書 | 土屋美奈子議員ほか 3名 | 原案可決 | 内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長 |
| 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書 | 土屋美奈子議員ほか 3名 | 否 決 | |

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

図書館で会議録や委員会記録が閲覧できます

議会だよりは一般質問や審議結果などを分かりやすくお伝えするため、内容を要約して掲載しています。

より詳しい内容をお知りになりたい方は、図書館に備え付けの会議録をご利用ください。



常任委員会・議会運営委員会の構成

議会議員の任期は4年ですが、本町の常任委員会等の委員の任期は条例で2年となっており、第5回臨時会（8月25日開催）で各委員が選任され、8月29日開催の第1回の各委員会並びに9月10日開催の第2回議会運営委員会で正副委員長の内選が行われました。

また、正副委員長の内選に伴い、議会選出の人事が一部変更となりました。

総務産建常任委員会

| | |
|------|---------|
| 委員長 | 山 本 正 行 |
| 副委員長 | 茅 根 英 昭 |
| 委員 | 中 井 寿 夫 |
| 委員 | 川内谷 幸 恵 |
| 委員 | 土 屋 美奈子 |
| 委員 | 大 物 翔 |
| 委員 | 白 川 栄美子 |

民生教育常任委員会

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 庄 巖 龍 |
| 副委員長 | 尾 森 加奈恵 |
| 委員 | 岸 本 好 且 |
| 委員 | 佐 藤 剛 司 |
| 委員 | 内 海 富美子 |
| 委員 | ジャストミートあたる |
| 委員 | 寺 田 進 |

議会運営委員会

| | |
|------|---------|
| 委員長 | 茅 根 英 昭 |
| 副委員長 | 寺 田 進 |
| 委員 | 山 本 正 行 |
| 委員 | 佐 藤 剛 司 |
| 委員 | 内 海 富美子 |
| 委員 | 川内谷 幸 恵 |
| 委員 | 土 屋 美奈子 |

議会選出の各種人事

後志教育研修センター組合議会議員

| | |
|-----|---------|
| (新) | 庄 巖 龍 |
| (旧) | 茅 根 英 昭 |

議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は12月上旬に開催の予定です。》

◆本会議は、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。

◆常任委員会や特別委員会については、委員長の許可を得なければ傍聴できないこととなっていますが、プライバシーに関わる審議などと特別の事情がない限り傍聴を認めています。

※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧ください。議会事務局（TEL21-2132）へお問い合わせください。

議案に対する各議員の賛否一覧

各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第5回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

| 件 名 | 審議結果 | 明政会 | | | | | | よいち未来 | | | | | 公明党 | | 会派に属さない議員 | |
|--|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-----|-----------|-----|
| | | 佐藤剛司 | 内海富美子 | 庄 巖 龍 | 中井寿夫 | 伊藤正明 | 茅根英昭 | 山本正行 | 尾森加奈恵 | 岸本好且 | 川内谷幸恵 | 土屋美奈子 | 白川栄美子 | 寺田進 | あじストミート | 大物翔 |
| 専決処分の報告について | 了 承 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決処分事項の承認を求めることについて（令和7年度余市町一般会計補正予算（第2号）） | 承 認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決処分の報告について | 了 承 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決処分事項の承認を求めることについて（令和7年度余市町一般会計補正予算（第3号）） | 承 認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和7年度余市町一般会計補正予算（第4号） | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和7年度余市町水道事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

第6回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

| 件名 | 審議結果 | 明政会 | | | | | よいち未来 | | | | | 公明党 | | 会派に属さない議員 | |
|--|--------------|------|-------|-----|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-----|-----------|-----|
| | | 佐藤剛司 | 内海富美子 | 庄巖龍 | 中井寿夫 | 茅根英昭 | 山本正行 | 尾森加奈恵 | 岸本好且 | 川内谷幸恵 | 土屋美奈子 | 白川栄美子 | 寺田進 | あじストミート | 大物翔 |
| 令和7年度余市町一般会計補正予算(第6号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 工事請負契約締結事項の変更について(令和7年度町営住宅黒川団地外壁改修工事(東棟)) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について | 決算特委 設置付託 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度余市町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度余市町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度余市町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※藤野博三議長は採決には加わりません。

常任委員会の動き

【総務産建常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

農作物の作況について調査を行いました。

【第24回】

(令和7年8月19日開催)

○「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に係る令和6年度余市町財政健全化判断比率の状況について(所管事務)

令和6年度の財政健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)について、それぞれの比率、算出根拠等の説明を受け、審議しました。

○余市町デマンド交通の運行について(所管事務)

令和7年11月から本格運行を開始、運行地域は区会単位によるものとし、運行便数は運行地域ごとに午前の便と午後の便で1日2往復を予定しており、利用料は大人300円、小学生150円、小学生未満は無料であるとの説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(所管事務)

○余市町地域防災計画の修正について

(報告案件)

○フィッシャリーナ内の船舶下架作業時における船舶装備品損失について

○令和6年度指定管理者事業報告書について

○第57回北海ソーラン祭り実施結果について

○余市川浄水場中央監視設備更新工事について

【第2回】

(令和7年9月3日開催)

○農作物の作況について(所管事務)

今年度の農作物の作況についてリンゴ、高設イチゴ、醸造用ブドウ、ミニトマト、ささげなどの園地を現地調査の上、生育状況について説明を受け、審議しました。

○道の駅再編整備について(所管事務)

令和7年度に用地の取得と土砂の搬入作業は完了しており、9月末頃から既設水路の撤去工事を予定していることや、今後はさらなる盛土の搬入やサウンディング調査を予定し、今後のスケジュール等について説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(報告案件)

○農業次世代人材投資事業補助金の返還について

○余市町職員の育児休業等に関する条例及び余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部改正について

○余市町議会議員及び余市町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

○令和6年度余市町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分に

【第3回】

(令和7年9月26日開催)

○令和7年度北海道原子力防災総合訓練について(所管事務)

北海道や関係市町村、防災関係団体が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、北海道南西沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、泊村、共和町を中心に被害が発生する中、泊発電所3号機において、警戒事態となり、PAZ内住民避難要請及びUPZ内屋内退避要請があつた後、OIL2の超過が確認され、UPZ内住民についての一時移転を開始する事態を想定した訓練を実施する旨の説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(報告案件)

○余市町公共下水道事業経営戦

略の改定について

【第4回】

(令和7年10月14日開催)

○余市町除雪計画について(所管事務)

令和7年度除雪計画について除排雪やパトロールの体制、雪捨場の指定等について説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

(所管事務)

○株式会社まほろば宅地管理公社の解散方針について

(報告案件)

○包括連携協定の締結について

○令和6年度漁業生産高について

○有害鳥獣対策について

○第41回味覚の祭典実施結果について



総務産建常任委員会現地調査

常任委員会の動き

【民生教育常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

町立保育所の運営について調査を行いました。

【第25回】

(令和7年8月20日開催)

○町営斎場建替事業について
(所管事務)

町営斎場建替敷地造成設計業務並びに町営斎場建築基本設計、実施設計業務の受託業者が決定し、業務を遂行しているが、町営斎場建替敷地造成設計業務において契約内容に一部変更が生じたことから変更内容について説明を受け、審議しました。

〔他の審議案件〕
(所管事務)

○余市町新型インフルエンザ等対策行動計画について
○クーリングシエルトの指定について

(報告案件)
○令和6年度指定管理者事業報告書について

【第2回】

(令和7年9月4日開催)

○町立保育所の運営について
(所管事務)

本町では特に潜在的な待機児童が発生しており、現行の体制では十分な受入れが困難であり町立保育所の受入れ体制をゼロから2歳児に特化する方向で検討し、来年度以降は新たに入所される児童について、3歳児以降は町内民間の保育施設へ転園をする形となるとの説明を受け、審議しました。

○戸籍等手数料のキャッシュレス決済の導入について(所管事務)

国の施策として、2050年までに決済比率を4割程度にすることを目指す目標が掲げられ、将来的にはキャッシュレス比率80%を目指しており、これらの動きに呼応し戸籍等手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入することとし、開始日は令和7年10月1日を予定し、対象となる手数料は戸籍証明書、住民票、印鑑証明書、税証明書等、地籍図等であり、対応可能な決済サービスはクレジットカード、電子マネー決済とし、町広報、LINEにより周知し、開始日に向けて職員の研修を実施し窓口業務を円滑に進めるとの説明を受け、審議いたしました。

○個人番号カード電子証明書更新事業について(所管事務)

個人番号カードの電子証明書は5年ごとの更新が必要であり、対象者の増加が見込まれ窓口の混雑が懸念されることから、令和5年6月の法改正により郵便局でも事務の取扱いが可能となったため、町民の利便性向上と窓口業務の混雑緩和を図ることを目的とし、余市沢町郵便局で個人番号カードの電子証明書の発行・更新の申請の受付と4種類の暗証番号の初期化が可能となり、受付開始日は令和7年10月1日を予定し、受付時間は祝日及び12月29日から1月5日は除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までで、町民の周知については町広報、町ホームページ等で行う旨の説明を受け、審議しました。

〔他の審議案件〕
(所管事務)

○余市町高齢者ニーズ調査の実施について
○ゼロカーボンシティ宣言について

(報告案件)
○周産期医療に関する財政支援について

【第3回】

(令和7年9月30日開催)

○町立保育所の運営について(所管事務)

9月19日に子ども・子育て会議を開催し、承認を受けたため町として方針を決定し、保育所の運営変更に伴う概要について大川保育所、中央保育所において保護者説明会を行い、11月4日から令和8年度の入所申込を開始し、今後も民間保育施設と連携を強化し子育ての充実を図っていく旨の説明を受け、審議しました。

○国民健康保険税について(所管事務)

現行の医療給付金、後期高齢者支援金、介護納付金の3区分が、このたびの改正により子ども・子育て支援納付金が追加される旨の説明を受け、審議しました。

〔環境衛生に関する現地調査〕
火葬炉の保管状況について現地調査を実施しました(場所…室蘭市内)。



民生教育常任委員会現地調査

一 般 質 問

第3回定例会での一般質問は、8人の議員から14件の町政全般に対する質問がありました。
一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員みずからが要約し、その原文を掲載しています。

尾森加奈恵議員 (よいち未来)

新たな道の駅について

質問 尾森議員 新たな道の駅について、次の事項を伺いたい。
①令和7年度は9981万2000円を予算計上し、新たな道の駅用地の整地を進めているが、建設と供用開始の見通しについて。

②令和6年度に3850万円をかけて作成した道の駅再編整備基本設計の内容は公開されていないが、公開と活用について。
③現時点での事業手法の方向性について。
④令和4年に公表された基本構想の見直しや修正、住民参画、協働について。
⑤財源確保の方向性について。

⑥現在の道の駅の現状と新たな道の駅が整備されるまでの運営方針、完成後の現在の道の駅の運営継続の考え方について。

答弁 齊藤町長 ①建設時期、供用開始時期ともに未定です。
②道の駅再編整備基本設計の内容については、活用できるところは活用し、可能な情報は公開

していきます。

③④サウンディング型市場調査の結果を受けて必要に応じた事業手法の変更や見直しを予定しており、住民参加で誇りを持てる道の駅にするため、きちんと住民の話を聞きながら進めています。

⑤可能な限り補助金、交付金を活用して進めるために国の地方創生の支援官3名を任命し様々な視点で可能性を模索します。
⑥ニッカウキスキー余市蒸溜所に隣接し、中心地である立地特性を生かした活用方法を検討します。

質問 尾森議員 ⑥新たな道の駅の供用開始後も現在の道の駅は「宇宙の不思議を体験できる道の駅、あなたも気分は宇宙飛行士、余市町ならではの旬のフルーツと宇宙食が手に入る道の駅」というコンセプトで運営していくのか。

答弁 齊藤町長 ⑥コンセプトは当然変わっていくものだと考えますが現在方向性は定まっています。

質問 尾森議員 ⑥現在の道の駅で新たな道の駅の集客と客単価が向上するための試験的な販売などの考えはないのか。

答弁 齊藤町長 ⑥現在の道の駅の運営は観光協会に委託して

おり、客単価向上を目的にマーケティングやブランディングに取り組んでいただきたいと考えています。

大物 翔議員 (無会派)

泊発電所再稼働に関する本町の姿勢について

質問 大物議員 原発は廃炉こそ取るべき道だが、本町は原発から10キロ圏外で地元同意を得るための協議体に参加できないにもかかわらず避難計画の策定を求められるのは不合理な事態だが、次の事項を伺いたい。
①この矛盾と不合理をどう考えているのか。
②協議体参加の意思はあるのか。
③再稼働に関する見解と、全町民避難の実効性について。

答弁 齊藤町長 ①②協議体の範囲は事故の影響が予想される自治体を含むべきと考えますが、最終的には国が責任を持つべき事項であり、このたびは国において北海道と立地4町村に対して地元同意の要請が行われたものと認識しています。
③町民の命と暮らしを守ること

を最優先に国や道と連携し慎重に対応することが必要であり、住民避難については防災訓練を重ね問題解決を図るとともに、課題に対しては北海道を通じて国へ要請するなど避難の実効性の向上にも努めています。

質問 大物議員 ①②国に任せるとではなく本町が協議体に加わるべきと考えるか。

答弁 齊藤町長 ①②事故の影響が予想される自治体の意見は尊重されるべきであり、国の制度設計では我々の意見を酌み取ってほしいと考えます。

質問 大物議員 ①②住民説明会では再稼働反対の意見が多かったが町はどう意見を示すのか。
答弁 齊藤町長 ①②この問題は白黒はつきりさせるものではなく、事故の影響が予想される自治体の意見は酌み取って尊重して欲しいと言いつけることだと考えます。

質問 大物議員 ③現状、避難計画は実行性のあるものができたと胸を張れる状況なのか。

答弁 齊藤町長 ③避難計画は不断の努力で更新し続けるものだと考えます。

質問 大物議員 ③避難に必要なインフラ整備が遅れており、実効性は確保されていない。

答弁 齊藤町長 ③避難に必要な

一 般 質 問

な道路整備の要望は支障のないよう常に行っています。

質問 大物議員 ③安全を確保できないのであれば動かすべきではない。

答弁 齊藤町長 ③多様な意見が存在することから、仮に国で動かすのであれば周辺自治体の安全を確保することが大前提です。

内海富美子議員 (明政会)

糸町自治体デジタルトランスフォーメーション推進について

質問 内海議員 国は各自自治体DX推進手順書を令和7年6月にバージョンアップし、各自自治体がデジタル化によるメリットを享受できるよう取組を充実化させているが本町の取組について、次の事項を伺いたい。

①標準準拠システムとガバメントクラウドの導入について。
②本町のマイナンバーカードとマイナ保険証の取得数と取得率の推移について。
③文書の電子化や電子決裁の導入など業務効率化の取組の進捗状況について。

④糸市町公式ラインを使ったオンライン申請の現状について。

答弁 齊藤町長 ①自治体情報システムの標準化については対象20業務のうち本町該当の18業務全てが令和7年度末までに標準準拠システムに移行予定であり、ガバメントクラウドについては戸籍、戸籍の附表を除く16業務が標準化と同時にガバメントクラウドに移行します。

②マイナンバーカードの取得数、取得率は令和5年度が1万1808枚、69.2%、令和6年度が1万2379枚、73.6%、令和7年6月末で1万2436枚73.8%であり、マイナ保険証は本町の国民健康保険では、令和5年度が2144件、56.5%、令和6年度が2275件、63.3%、令和7年6月末で2294件、64.2%です。

③令和5年度より業務効率化のため電子決裁システムの導入やマイクロソフトのチームスによる勤怠管理を実施しており、文書の電子化促進や業務の効率化に努めています。

④令和5年10月のサービス開始以降順次対象手続を拡充し、健診予約やアンケート調査など申請内容によっては一定の利用が見られますが、全体的な利用率は低い状況です。

質問 内海議員 ②自治体情報システムのオンライン化にはマイナンバーカードの登録が重要だがどのように進めるのか。

答弁 齊藤町長 ②普及促進によってデジタル化のメリットを享受できる、利便性が向上するということをきちんと伝えていくことが重要だと考えます。

質問 内海議員 ④糸市町公式ラインの利用促進について。

答弁 齊藤町長 需要を見ながら改善できるものはより使いやすいものに改善したいと考えています。

白川栄美子議員 (公明党)

5歳児健診導入について

質問 白川議員 5歳児健診の必要性や国からの健診費用の一部補助、5歳児健診ポータルサイトの活用についてこれまで議会で訴えてきたが、医師や臨床心理士の確保が難しいことや、ポータルサイトは有効なサイトであることから調査研究することの答弁があったことから、次の事項を伺いたい。

①昨年から今年の発達障害数の推移について。

②就学前に発達障がいと分かった子ども、グレーゾーンと思われる子どもの数について。

③保健師のスキルアップの取組について。

④ポータルサイト活用の検討状況について。

答弁 齊藤町長 ①公式な統計がなく人数は把握していませんが、発達障がいに関する相談実績は令和6年度が61人、令和7年8月末現在72人です。

②過去2年の就学児童では就学前に支援が必要な子どもはおらず、グレーゾーンについては特定の診断名や判断基準がないため把握するのは困難です。

③5歳児健診の実施に向けて各自自治体への視察や実践の運営方法を学んでいます。

④5歳児健診に必要な基礎的知識を習得するため積極的に活用しています。

質問 白川議員 ②関係機関との連携で全体の人数は把握できると思うが、連携は取れているのか。

答弁 齊藤町長 ②関係機関との連携は必要に応じて取っています。

質問 白川議員 ③保健師全員が研修に参加しているのか。

答弁 齊藤町長 ③全体の底上げを図るためローテーションで研修の体制を整えています。

質問 白川議員 ④心理士を確保して進める考えはあるか。

答弁 齊藤町長 ④心理面での専門家については専門の医療関係者に頼る必要があるが協賛病院の小児科とも連携し、母子通園センターの支援員と協議し5歳児健診の実施に向けた体制を構築します。

質問 白川議員 ④白老町では今年から5歳児健診を導入しており、1日も早く5歳児健診を導入できる体制をつくっていただきたいが見解について。

答弁 齊藤町長 5歳児健診の重要性は把握しており、来年度に反映できるよう考えています。



5歳児健診ポータルサイト(こども家庭庁)

一 般 質 問

ジャストミートあたる議員 (無会派)

田川橋周辺の廃棄船やゴミ・糞便等の環境問題について

質問 ジャストミートあたる議員 町民の方から田川橋周辺の環境が劣悪だとの相談があり、現地に赴き視察したところ橋桁の下に廃棄船が数隻確認されたが、このまま放置もしくは行政で執行で撤去する予定か。

答弁 齊藤町長 管理者が北海道なので、余市町も情報を得た時点で北海道に提供し、対応するのは北海道になっています。

第27回参議院議員通常選挙の開票結果について

質問 ジャストミートあたる議員 令和7年7月20日に執行された第27回参議院議員選挙の投票結果の投票数の部分に持ち帰りとなるが、選挙人が投票箱に入らずにそのまま持ち帰ったのか、現場で紛失したのか。

答弁 網野選挙管理委員会委員長 開票事務において符合しない1票について最終確認を行

い、結果、選挙人が投票用紙を持ち帰ったものと判断し、決定したものです。

質問 ジャストミートあたる議員 この持ち帰り票は売買に使われるらしく、1万円なりで売られ、期日前投票所等で使われるおそれがあり、身分証明書等がセキュリティとして必要だと思われるが、いかがか。

答弁 網野選挙管理委員会委員長 今いろいろな面で問題がありますので選挙管理委員会としても検討を加えていきたいと思

っています。

~~~~~

### 第57回北海ソーラン祭りの短縮・縮小化について

質問 ジャストミートあたる議員 第57回北海ソーラン祭りはなぜ1日のみの開催となり、花火大会が未実施になったのか。

答弁 齊藤町長 協賛金の減少や花火大会に係る費用の高騰等の課題が顕在化したためです。



第57回 北海ソーラン祭り

### 余市町の人口の動態と現状について

質問 ジャストミートあたる議員 令和2年では国勢調査と住民登録の差は1539世帯に上り、住民登録ベースが約18.6%多いことになっており、今年が調査年度となるが、このラグが最大になると思われる、実際は行政を行う上でどのような不都合が顕在化するか。

答弁 齊藤町長 配付系は住基に基づいてやっており、交付率に関しては95%の人に行き渡っており不都合はありません。

~~~~~

クーリングシエルトーについて

質問 ジャストミートあたる議員 余市町役場に設置されたクーリングシエルトーが非効率な仕様だが、今後改善されるか。

答弁 齊藤町長 電力消費や効率、今後の暑熱状況や利用実態を踏まえた上で、運用の改善や機材の見直し等を検討します。

寺田 進議員 (公明党)

リチウム蓄電池等の小型充電式電池の回収について

質問 寺田議員 環境省は家庭から出されるリチウム蓄電池を市町村が回収するよう通知しており、本町の取組について、次の事項を伺いたい。

①町内のリチウム蓄電池の分別収集の取組について。
②火災事故等を未然に防止するためにごみ収集ステーション等で回収が必要と考えるが、見解について。

③町民への強力な周知広報が必要と考えるが、見解について。

答弁 齊藤町長 ①本町では回収しないごみとなっており、廃棄する場合は一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼するか、家電量販店やホームセンターで回収していますが、加熱式たばこ以外のリチウム蓄電池使用商品については町内3か所に設置した小型家電回収ボックスで回収しています。

②町民のニーズに 대응べく調査、検討していきます。
③回収する条件が整った際は広

一 般 質 問

報等で強力に周知します

質問 寺田議員 ①余市町の分別パレットや広報では収集しないとなっているが家電量販店では変形したものの以外は回収してもらえないこともあるので、町民に分かりやすく知らせることや、自治体で積極的に回収していかねばならないのではないかと。

答弁 齊藤町長 ①リチウム蓄電池の収集体制は、環境省の通知を踏まえ関係機関、処理業者とおおむね令和8年4月をめどに導入する調整、検討をしており、処理先の確保、収集の安全性の確認後、公報やホームページで周知する予定です。

質問 寺田議員 ①収集の安全性を確保することが必要なものが各家庭に眠っていることも事実であることから、一刻も早く推進していただくとともに、近隣の自治体では既に回収しているところもあるので、今後収集することを考えていることも含めて一刻も早く町民に周知するべきではないかと。

答弁 齊藤町長 課題は処理先の確保、特にリサイクルマークのない電池や膨張したものは、北海道内でも受入先が限定的であり、広域的な連携や国、道とも調整を行いながら進めると

もに、保管方法についてもクリーンセンターの安全体制、専用容器やスペースを確保する必要があります。めどが立てばすぐ周知します。



小型家電回収ボックス
(福祉センター)

川内谷幸恵議員 (よいち未来)

職場の熱中症対策 について

質問 川内谷議員 国は職場における熱中症対策を法的義務へと強化したが、特に女性は熱中症リスクが異なる場合もあり、より細やかな配慮が求められるが、次の事項を伺いたい。

①6月1日から暑さ指数が28を超えた日は庁舎内で何日あったのか。

②熱中症対策義務化の対象部署と認識 対策について。

③学校の教室は窓枠クーラーが設置されるなど子ども向けの対策はされているが、職員室、保健室等の教員が仕事をする場所への対策について。

答弁 齊藤町長 ①計測を始めてから暑さ指数28を超えた日はありませんでした。

②組織的に予防するリスクと認識しており、義務化の対象としては全職員が対象と考えていますが特に外で作業を行う職員についてはリスクが高いと考えており、それぞれ対応を進めるとともに、公務災害マニュアルを改定し熱中症発生時の連絡体制を整備し課内で共有しています。

答弁 前坂教育長 ③補助事業対象外となる職員室や音楽室などの特別教室は未整備となっており、現在はサーキュレーターや扇風機を配置するなどの対策を講じています。

質問 川内谷議員 ①体調不良になった職員はいなかったのか。

答弁 齊藤町長 ①暑さで体調不良になったという報告は上がってきていません。

質問 川内谷議員 ②女性の体調は暑さに左右されやすく、薄着になれないこともあるので配慮が必要だと考えるが、マニュアルの中に含まれているか。

答弁 齊藤町長 ②熱中症の連

絡体制については責任者を置いて体制を構築していますが、服装などは含まれていません。

質問 川内谷議員 ②暑さによって判断力、決断力などの認知能力が低下すると、いいアイデアが出ない、判断を間違えるなど仕事に影響が出るかもしれないので、今後庁舎内に1部屋クーリングシェルターをつくるなどの検討はできないのか。

答弁 齊藤町長 ②暑ければ状況をみてスポットクーラーを導入するなど随時対応します。

質問 川内谷議員 ③今後導入を検討いただきたい。

答弁 前坂教育長 ③教職員の安全を確保するためにしっかりと対応してまいります。

佐藤 剛司議員 (明政会)

余市町のICTを活用した 教育環境の充実について

質問 佐藤議員 個別最適、協働的な学びについて、次の事項を伺いたい。

①具体的な取組と児童の学力、意欲の変化について。

②教員の研修体制について。

③メリット、デメリットについて。

答弁 前坂教育長 ①タブレット端末と学習アプリを活用し個別最適化を図っており、全国学力調査では小学校国語は全道平均を上回っています。

②校内研修での好事例共有や加配教員による実務研修でスキルアップを図り、町全体で統一感ある授業改善を進めています。

③メリットは個別最適、協働的学びの実現と情報活用能力の向上、デメリットは長時間使用による健康面への影響や読み書きの能力低下の懸念があり、これらを考慮しながら進めています。

部活動の地域移行 について

質問 佐藤議員 余市町では先進的に取り組んでいるが、次の事項を伺いたい。

①現状と課題対応について。

②活動機会の確保について。

答弁 前坂教育長 ①現在2部活が完全移行、7部活が休日移行済みとなっており、課題は指導者の確保、費用負担、移動手段などですが、指導者の育成、学校開放事業の活用、支援制度の動向を注視します。

②生徒のニーズを把握し、指導者と場所の継続的確保や北後志管内での広域連携も協議し、少子化の中でも多様な活動機会を維持、創出していきます。

~~~~~

## 緊急銃猟について

質問 佐藤議員 現状と課題について、次の事項を伺いたい。

①予防対策について。

②今後の進め方について。

③関係機関との協議について。

答弁 齊藤町長 ①ゾーニング管理など専門家のアドバイスを基つきヒグマを町なかに寄せつけない予防対策も並行して調査研究していきます。

②緊急銃猟の実施に向けハンターの身分保障や人材確保など多くの課題整理を進めています。

③9月に北後志管内でヒグマ出没時の初動対処訓練を実施し、その結果を踏まえ、近日中に有害鳥獣駆除対策協議会を開き、方針を定めます。

質問 佐藤議員 ②迅速な運用をお願いしたい。

答弁 齊藤町長 ②協議会での決定を踏まえ、地域の理解を得ながら適切に運用方針を定めます。

# 議会のホームページを開設しています



余市町議会のホームページを随時更新し、会議の予定、審議結果、会議録、議会だよりなど、議会からの情報発信に努めています。

さらなる充実に向けて忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

ご覧になる場合は、余市町公式ホームページの「余市町議会」のバナーをクリックしてご覧ください。

<http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

余市町議会

検索





伊藤正明議員がご逝去されました

故伊藤正明議員は昭和23年11月25日札幌市でお生まれになり、令和4年から2期にわたり地方自治の振興と住民の福祉の向上、さらには余市町の発展に精魂を傾けてこられました。9月5日、76歳でご逝去されました。

9月11日開催の第3回定例会では、同僚の岸本好且議員により追悼の演説が行われました。

ここに謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

#### □総務産建常任委員会

##### 先進市町村行政視察

総務産建常任委員会では、今後の委員会審査の充実を図るため、岡山県笠岡市で「笠岡ふれあい空港の活用について」、三重県紀北町で「藻場再生事業について」それぞれ研修を行いました。



#### □議会運営委員会

##### 先進市町村行政視察

議会運営委員会では、今後の委員会審査の充実を図るため、神奈川県寒川町、二宮町で、「議会改革・活性化の取組について」それぞれ研修を行いました。

## 議会日誌

### 8月

- 20日 民生教育常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 第5回臨時会
- 29日 各常任委員会・議会運営委員会

### 9月

- 3日 総務産建常任委員会
- 4日 民生教育常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11～16日 第3回定例会
- 16日 各事業会計決算特別委員会
- 26日 総務産建常任委員会
- 30日 民生教育常任委員会

### 10月

- 1日 広島県呉市議会行政視察来訪
- 9日 北海道天塩町議会行政視察来訪
- 8～10日 議会運営委員会先進地行政視察
- 14日 総務産建常任委員会
- 16日 福岡県八女市議会行政視察来訪
- 17日 北海道女性議員協議会総会
- 21～24日 総務産建常任委員会先進地行政視察
- 24日 北しりべし廃棄物処理広域連合議会
- 31日 議会運営委員会

### 11月

- 4日 第6回臨時会
- 7日 各事業会計決算特別委員会
- 11日 北海道横断自動車道中央要望
- 11日 民生教育常任委員会
- 12日 全国町村議会議長全国大会
- 13日～14日 北後志町村議会議長会行政視察
- 18日 総務産建常任委員会

## 編集後記

先般の第4回総務産建常任委員会において、有害鳥獣対策について報告を受けました。主な対象はアライグマ、エゾシカ、ヒグマ、カラスなどで、昨年度の農業被害額は約910万円と推計されています。

近年、ヒグマが人の生活圏に侵入する事例が相次ぎ、毎日のように新聞やテレビで報道されている状況を考えると、きわめて異常な事態といえるでしょう。とりわけ本町では市街地への侵入や民家への立てこもりなど、今のところ発生していませんが、いつ起きても不思議ではありません。町民の皆さまには、ご自身の安全確保のため、またヒグマを寄せつけないためにも、生ごみを屋外に放置しないなどの基本的な対策を心がけていただきたいと思います。

市街地における発砲は警察官職務執行法及び改正鳥獣保護管理法に基づく緊急銃猟のみ認められています。その実施には高いハードルがあり実効性を疑問視する声もあります。

私たち議員も町民の皆さまが安心して暮らせるよう今後も町政に意見を反映し、より安全な地域づくりに努めてまいります。

総務産建常任委員会

委員長 山本 正行